

2016年5月25日第2回公開フォーラム 実行委員会（第1回、Web会議） 議事録

日時：2016年5月25日 16:00～17:50

参加者：溝上、天野、鯉田、小松、佐々木、佐藤（洋）、澤山、西田、日浦、堀内、和田、永井（議事録）

場所：Web会議

議題

1. 日程と会場について

- ・ 下記の通り確認された。
2016年11月30日（水）@千葉大学 西千葉キャンパス（キャンパスマップの「工学系総合研究棟2」という建物の2F）
堀内さんから会場について簡単な説明あり：
 - ・ 大学の門から3～4分
 - ・ 昨年できた新しい建物の中のコンファレンスルーム（口頭発表）と、その通路を挟んだ向かいの部屋（ポスター発表）を確保済み
 - ・ ポスター発表用のボードも確保済み
 - ・ 歩いて3～4分のレストランで懇親会も可能（未予約）。ただし懇親会の人数が多めに多い時は会場でのケータリングで対応する必要あり
- ・ 会場費は多元質感知から出す。Invoiceが発行され次第、堀内さんから西田さんへ送付する。

2. 開催形式について

案① 招待講演・ポスター発表（半日／全日）

案② 招待講演・口頭発表・ポスター発表（半日／全日）

案③ その他：チュートリアル、ワークショップ等

<事前意見> 案①に賛成多数

- ・ デモ展示があるとよい
- ・ 希望があればポスター展示無しでデモ展示のみというのもよい。（搬入・搬出など、その他機器に関するトラブル対応、机・電源確保は要確認）
- ・ 全日で口頭発表もあった方がいいが、千葉なの午後スタートでないと厳しい。
- ・ ポスターに長い時間をとってほしい。早めに掲示可能であれば有意義に時間が使える。
- ・ 全日としてチュートリアルなども盛り込めると良いが、開催場所を考えると今回は半日。
- ・ 口頭発表を設けるとなると、選ぶのがあまり簡単ではない。査読的な作業が必要。分野が広いので、責任を持った選択が簡単ではない。
- ・ 口頭発表を多く選ぶと、時間的に厳しい。また、発表分野が広いので、聞くのが辛い発表が生じそう。

<会議での議論>

- ・ 前回の方針がうまく行っているので、より良い案が出るまではこの形態で進めるのが良い（日浦）
→「案①+ポスター展示なしのデモ展示も認める」で実施することを決定した。

3. 招待講演者について

<事前アンケートの招待講演者案>

多元質感知領域内：

- ・ 小松英彦（生理研）
- ・ 仲谷正史（北海道大）

- ・ 富永昌治（千葉大）：質感にまつわるざっくばらんとした思いを聞いてみたい。
- ・ 郷田直一（生理研）

多元質感知領域外：

- ・ 五十嵐崇訓（花王）
- ・ 津村徳道（千葉大）
- ・ 西田友是（CG分野の第一人者）：CG分野での質感にまつわるフロンティアを知りたい。
- ・ 独特の質感で話題となり、賞も受けているマツダのソウルレッド塗装の開発を担当された方：自動車塗装における質感追及（コスト削減も？）の事例を紹介していただきたい。
- ・ 瀬尾拓史
<http://www.sciement.com/jp/ceo.html>
<http://www.sciement.com/jp/works/>
- ・ 玉井美由紀ら（FEEL GOOD CREATION）：CMFのお話
<http://feelgood-c.com/cmfi/>

<会議での議論>

- ・ 前回は領域内からの話がメインだったので、今回は外から呼ぶのが刺激という意味でも望ましい（日浦）
- ・ 外から参加する人は領域内の話も聞きたいはずなので、中:外=1:1くらいか？（西田）
- ・ 西田先生、土橋さん（北大）：
 - CG関連ということで興味ある（小松）
 - 西田先生はあちこちで講演されているのが気になる。聞いたことある人は多いはず（日浦）
- ・ 堀内さんの共同研究者の金属デモはどうか？（西田）→化学すぎるかも（堀内）
- ・ マツダのソウルレッドの話：ウェブに資料もあり、少なくともそこに掲載されている話はしていただいけそう（佐藤）
- ・ 富永さん：
 - 千葉大であることを考えると富永さんの話は大変良い（小松）
 - 基調講演的な扱いで含蓄のある話をしていただくのは面白そう（日浦）。
 - 西田先生や富永さんと最先端の話は聞けないかもしれない。選ぶならどちらか一人にして、他の講演者は最先端の話聞ける人が良い（西田）
- ・ 瀬尾さん：医師かつCGクリエイター（心臓の動きのデモとか光沢以外の質感の医学CGが色々）（和田、鯉田）。
- ・ 玉井さん
 - デザインの分野が持つノウハウから質感再現をするアプローチで面白い。高分子学会などで学術的な講演も行っているらしい（堀内）
 - お会いしたりオフィスを見学したりしたことがある（小松）。
- ・ 前回のアンケートからマルチモーダルな話題面白い（和田さん、藤崎さん、鳴海さん etc）
- ・ 五十嵐さん：
 - 企業の話、かつ以前領域内でお話いただいたという点で魅力的（小松、西田）
 - 最先端感は足りない？富永さんと方向性が近い？（西田）
- ・ 最先端感としては柳井さん（電通大）の話は面白い（西田）

<最終候補絞込>

- ・ 第一候補：富永、五十嵐、和田、柳井
- ・ 第二候補：土橋（北大）、瀬尾、マツダ
 - まず第一候補の方々に打診していく。一件は企業の人を含んだ方が良い（五十嵐さんがダメならマツダの方）
 - 招待講演枠として2時間という時間だけ決めておいて、多めに4人くらいの多めの講演にするのが良さそう（西田）

➤ 打診担当

富永さん、五十嵐さん：溝上さんが担当

柳井さん：西田さんが担当（依頼文面は溝上さんから西田さんへ送付）

和田さん：会議中に内諾済み

4. その他（質感のつどいの発展・多元質感知との棲み分け等）

<事前意見>

- ・ 場所柄、千葉大、放医研の方が多く来れるような宣伝ができると良さそう。
- ・ ロケーション的に都内から千葉大の間には見えない壁があるので、プラス1時間かけて来ていただく（実際はプラス40分程度ですが）魅力があればよい。
- ・ 多元質感知の公募メンバーが決まったので、質感のつどいをどのように多元質感知から差別化するかを検討する必要がある。（発信、普及、集客等の対策）

<会議での議論>

- ・ 千葉大の見学は可能？（小松）→ 多分可能。事前申込をしていただくことを想定しながら、千葉大グループで検討してみる（溝上、堀内）。
- ・ 心理物理の現象を色々体験してみたい（日浦）
- ・ 領域と質感のつどいの差別化は、世話人会でまた議論する（溝上）
- ・ 集客等について
 - 後日相談したい（溝上）
 - シーガイア班会議で短くて良いからアナウンスしたほうが良い（日浦）
→ 溝上さんに簡単に紹介していただくこととした

5. 今後のスケジュールなど

- ・ フォーラム運営マニュアルは現在溝上さんが作成中。
- ・ 5月末：日程と会場アナウンス／6-7月：招待講演者決定／8月：発表募集アナウンス／10月：発表申し込み受付・プログラム作成／～11月中旬：参加申し込み受付
- ・ 発表時に持ち帰り資料に掲載する abstract や原稿を必要とするかどうかなど、時期が近づいたら議論したほうが良い。メリット・デメリットあるので意見集約したほうが良い（日浦）
- ・ デモについて
 - デモンストレーションはポスターと同じように募集する？（天野）
 - そのつもり。発表申し込みと同時に募集する予定。ポスターとデモは別枠にしても良いかも（溝上）
 - 企業の人参加を促す意味では、発表内容がアカデミックである必要はないことは伝えても良い（西田）
 - ただデモ・展示希望者が多すぎるかもしれない（特に企業）ので、場所がないときには発表できない旨をあらかじめ伝えた方が良いかもしれない（溝上）
- ・ メーリングリストやウェブ等をもっとぜひ活用して情報発信してほしい（小松）。